

## 17 かわさき総合ケアセンター

ケアセンターのキーワードである緩和ケア、在宅ケア、高齢者ケア、地域連携の各分野で、新たな展開を進めることができました。

本年度より厚生労働省の今後の高齢者ケアの指針として、地域包括ケアが示されていますが、従来、かわさき総合ケアセンターの目指してきた概念でもあり、地域包括ケアの実現のために、当センターも、緩和ケア病棟、在宅ケア・医療相談部門、ケアプラン病床などの各分野で、取り組む必要があると考えられます。

緩和ケアは、地域がん診療連携拠点病院として、国の進める緩和ケアセンターの要件を満たすように努力しているところです。宮森は、神奈川県地域がん診療連携拠点病院連絡協議会の緩和ケア部会長、神奈川県がん対策協議会委員として、県の協議会に参加しました。

神奈川県単位型・緩和ケア研修会を多数開催しました。平日夜間コースを4回、日曜の集中講義を2回、緩和ケアスキルアップ研修会を4回、緩和ケアフォローアップ研修会を2回開催し、さらに、地域の看護・医療・介護関係者を対象にしたかわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会を5回開催し、地域との顔の見える関係を強化しました。

研究発表では、第18回日本緩和医療学会において、西智弘、佐藤将之、村瀬樹太郎の各氏が、シンポジウムのシンポジストを務め、宮森正は、「深い持続的鎮静における相応性原則の確認をIDASによるQOL評価で行った事例」の報告で優秀ポスター賞を授与されました。

市民のがんの不安に応えるため、がんサロンを開催しており、月2回開催のうち、1回は、勤労者が参加しやすいように準夜帯に開催し、好評を得ています。

今年度も多くの研修医師を受け入れることが出来ました。専門研修として、佐藤将之、村瀬樹太郎、小柳純子、荒川健一、3ヶ月短期研修として、秋吉尚広、天野静、阿部涼平が研修を行いました。初期研修医の1ヶ月地域研修として、戸谷遼、成松英俊、田中佑資、倉持智洋、江藤美菜実、森田覚、赤羽宏基、河内大輔、鈴木祥子、鎌田泰裕、山田万里恵、松岡朱里、木村裕美子、を受け入れました。佐藤将之は、日本緩和医療学会の緩和医療専門医を取得しました。

## (1) 緩和ケア病棟

緩和ケア病棟受け入れ患者数は、245名と増加、重症例が増加したため、平均在院日数は、27.7日と短く、平均病床利用率は92.5%でした。緩和ケア病棟への転院には、初診外来予約が必要ですが、激しい疼痛や苦痛が緩和できない場合には、外来・在宅患者の救急対応や一般病棟への緊急入院にも対応できるように緩和ケア内科の当直体制を確保しています。

### a. 緩和ケア病棟 行事

開催日	内 容
4月11日	春の会 ピアノ演奏+アロマ
5月9日	端午の節句 マンドリン演奏
6月13日	フラダンス
7月11日	七夕 ギター演奏 岩見谷洋志氏
6月27日	荻野みどり コンサート ★
8月17日	花火大会
9月12日	お月見 ピアノ連弾演奏
10月10日	秋祭り 日本舞踊
11月14日	芋煮会 二胡演奏
12月12日	クリスマス会 歌・バイオリン
12月19日	荻野みどり コンサート ★
1月9日	新春の会 バイオリン・ピアノ演奏
2月6日	節分
3月6日	お雛様 大正琴・抹茶

(★特別イベント)

※その他、井田病院院内コンサート等イベント参加

5月24日 奥平哲也 マリンバコンサート

8月15日 和田マリアンネ サマーファミリーコンサート

7月6日 リジョイス七夕コンサート

10月18日 グリーンエコーズコーラスコンサート

11月27日 小規模コンサート ギター&オカリナ

12月20日 西原のぞみ ピアノ クリスマスコンサート

1月24日 伝統人形芝居 ひとみ座 乙女文楽二人三番

b. 緩和ケア病棟 各種ボランティア等活動	
活動内容	活動日 (原則)
介護ボランティア	月曜日～土曜日
ハーブガーデン園芸ボランティア	毎週月曜日
園芸ボランティア	毎週木曜日
図書・ティーサービス	毎週木曜日 14:00～
折り紙	毎月第1火曜日 14:00～ (8月、1月休み)
絵手紙	毎月第1月曜日、第1木曜日 14:00～ 5月休み、11月休み
音楽療法	毎月第2・4火曜日 14:00～
アロマセラピー (アロマセラピスト)	原則毎月第4金曜日 14:00～ 4/19, 5/24, 6/28, 7/26, 8/23, 9/27, 10/25, 11/22, 12/20, 1/25, 2/22, 3/22
温灸療法 (鍼灸師)	毎月1回水曜日 (不定期) 14:00～ 4/24, 5/29, 6/26, 7/26, 8/28, 9/25, 10/23, 11/27, 12/11, 1/24, 2/14, 3/14
園芸療法 (園芸療法士)	年6回(不定期) 5/15, 8/21, 10/2, 12/4, 12/18, 2/5
※職員、ボランティア向け勉強会を開催	
「温灸について」	2014/11/27
「アロマセラピーについて」	2014/5/24
※遺族会を開催	
「ラベンダーの会(遺族会)」第2回	2013/10/31
※緩和ケア病棟 ボランティア会議を開催	
第1回意見交換会	2013/5/23
第2回意見交換会	2013/12/5
※アロマセラピスト、鍼灸師は、病棟カンファ参加	
※音楽療法は、H23/6～毎月第2・第4火曜日に活動開始、H25年度で活動終了	
※絵手紙は、H24年度～毎月第1月・第1木の2回活動に	

c. 緩和ケア病棟作品展	
展示名	開催期間
フォトクラブ写楽 立野皓庸	7/23～
押し花画	9/2～
パステル画	10/2～
絵手紙	1/29～
ガラスアート	3/6～
*他は常設展	

表1 かわさき総合ケアセンター見学・実習等受け入れ件数

対象			件数	人数
行政関係			0	0
医療関係	院外	医師	21	24
		看護師	7	17
		その他	13	13
	院内		4	4
福祉関係			0	0
一般		病院関係	2	10
		その他	0	0
		報道	0	0
計			47	68

表2 見学、電話相談、緩和ケア初診外来件数

区 分	件数	月平均件数
患者・家族 見学件数	123	10.3
電話・面接相談件数	2606	217.2
緩和ケア初診外来件数	264	22.0
判定件数	452	37.7

表3 患者基礎（原発）疾患別入院患者数

基礎（原発）疾患名	
脳腫瘍（グリオーマ膠芽種・髄膜種・下垂体腺腫・神経鞘腫・頭蓋咽頭腫・血管芽腫）	1
頭頸部癌（鼻副鼻腔・口腔・咽頭・唾液腺・目・耳・舌）	20
甲状腺癌（乳頭・濾胞・髄様・未分化・悪性リンパ腫）	2
呼吸器癌（小細胞・非未分化・縦隔腫瘍）	47
食道癌	16
胃癌（胃・十二指腸・空腸）	31
大腸・小腸癌（上・横・下行結腸・直腸・盲腸）	26
肝癌（肝臓・胆嚢・胆道・胆管）	17
膵癌	29
腎癌	6
乳癌	15
子宮癌（子宮頸癌・子宮体癌・卵巣）	13
前立腺癌（膀胱・尿管・前立腺・睪丸・精巣・陰茎）	15
外陰・陰 絨毛	
皮膚	1
骨腫瘍・軟部腫瘍	1
血液（急性白血病・悪性リンパ腫）	1
血管肉腫	
原発不明癌	
悪性神経鞘腫	
中皮腫	2
H I V	
その他	2
不明	
計	245

機関	件数
大学病院	60
国・県がんセンター	20
公立病院	26
準公立病院	6
労災病院	15
民間病院	15
医院・クリニック	12
院内	91
計	245

年月	前月末患者数	新入院患者数	退院数				月末患者数	初診外来件数	
			在宅移行	死亡	※その他	計			
			※院内転床ケース						
10年10月～11年 3月		109	22	68	1	91		99	
11年 4月～12年 3月		190	35	148	6	189		188	
12年 4月～13年 3月		167	21	146	5	172		168	
13年 4月～14年 3月		158	13	138	2	153		162	
14年 4月～15年 3月		166	3	162	1	166		174	
15年 4月～16年 3月		162	14	143	4	161		157	
16年 4月～17年 3月		175	9	166	1	176		135	
17年 4月～18年 3月		169	9	159	0	168		180	
18年 4月～19年 3月		155	12	144	2	158		191	
19年 4月～20年 3月		188	6	177	4	187		219	
20年 4月～21年 3月		164	14	145	3	162		238	
21年 4月～22年 3月		207	20	188	3	211		215	
22年 4月～23年 3月		173	5	162	4	171		221	
23年 4月～24年 3月		196	11	181	4	196		238	
24年 4月～25年 3月		236	14	218	4	236		280	
25年 4月～26年 3月		245	7	235	3	245		264	
内 訳	25年4月	18	18	2	18	0	20	16	19
	25年5月	16	17	0	16	0	16	17	23
	25年6月	17	21	0	21	0	21	17	29
	25年7月	17	18	0	17	0	17	18	23
	25年8月	18	22	1	21	1	23	17	23
	25年9月	17	19	0	17	1	18	18	18
	25年10月	18	22	2	18	1	21	19	26
	25年11月	19	21	0	21	0	21	19	23
	25年12月	19	25	2	23	0	25	19	21
	26年 1月	19	20	0	20	0	20	19	21
	26年 2月	19	21	0	21	0	21	19	20
	26年 3月	19	21	0	22	0	22	18	18
10年10月～26年3月合計		2,860	215	2,580	47	2,842		3,129	

表6 緩和ケア病棟稼働状況（稼働20床 再入院を含む）

年月	入院患者数	退院患者数 (うち死亡)		一日平均 入院患者数	平均病床 利用率	平均在院日数 (最小～最大)		初診外来数
10年10月～11年 3月	109	91	68	18.0	89.8%	29.3	(2～178)	99
11年 4月～12年 3月	190	189	148	17.6	89.7%	34.7	(1～147)	188
12年 4月～13年 3月	167	172	146	18.3	91.5%	39.6	(1～218)	168
13年 4月～14年 3月	158	153	138	18.2	90.9%	43.1	(2～258)	162
14年 4月～15年 3月	166	166	162	19.1	95.4%	45.1	(1～391)	174
15年 4月～16年 3月	162	161	143	18.6	93.2%	42.7	(1～157)	157
16年 4月～17年 3月	175	176	166	18.3	91.5%	39.3	(1～329)	135
17年 4月～18年 3月	169	168	159	18.9	94.6%	48.9	(1～562)	180
18年 4月～19年 3月	155	158	144	18.4	91.8%	42.8	(1～770)	191
19年 4月～20年 3月	188	187	177	18.6	93.1%	36.4	(1～632)	219
20年 4月～21年 3月	164	162	145	19.2	96.1%	43.1	(1～201)	238
21年 4月～22年 3月	207	211	188	18.6	92.9%	44.0	(1～307)	215
22年 4月～23年 3月	173	171	162	18.9	94.6%	57.2	(1～318)	221
23年 4月～24年 3月	196	196	181	18.7	93.3%	35.0	(1～331)	238
24年 4月～25年 3月	236	236	218	18.2	90.8%	28.2	(1～365)	280
25年 4月～26年 3月	245	245	235	18.5	92.5%	27.7	(1～329)	264
計	2860	2842	2,580					3,129

表7 緩和ケア病棟在院日数の分布

年月	入院患者数	入院日数別内訳				
		～6日	7～13日	14～29日	30～59日	60日～
10年10月～11年 3月	109	20	24	31	22	12
11年 4月～12年 3月	190	33	32	61	47	17
12年 4月～13年 3月	167	33	23	43	33	35
13年 4月～14年 3月	158	20	22	47	39	30
14年 4月～15年 3月	166	31	23	45	35	32
15年 4月～16年 3月	162	28	17	51	38	28
16年 4月～17年 3月	175	31	25	48	41	30
17年 4月～18年 3月	169	33	30	45	50	11
18年 4月～19年 3月	155	32	24	33	43	23
19年 4月～20年 3月	188	42	27	48	44	27
20年 4月～21年 3月	164	26	29	42	32	35
21年 4月～22年 3月	207	40	31	55	42	39
22年 4月～23年 3月	173	39	16	46	36	36
23年 4月～24年 3月	196	37	36	58	37	28
24年 4月～25年 3月	236	62	44	63	39	28
25年 4月～26年 3月	245	64	59	60	43	19
計	2860	571	462	776	621	430

表8 緩和ケア病棟入院患者の住居地域

地域	10年 10月 ～11年 3月	11年 4月 ～12年 3月	12年 4月 ～13年 3月	13年 4月 ～14年 3月	14年 4月 ～15年 3月	15年 4月 ～16年 3月	16年 4月 ～17年 3月	17年 4月 ～18年 3月	18年 4月 ～19年 3月	19年 4月 ～20年 3月	20年 4月 ～21年 3月	21年 4月 ～22年 3月	22年 4月 ～23年 3月	23年 4月 ～24年 3月	24年 4月 ～25年 3月	25年 4月 ～26年 3月	計	比率
川崎市	50	91	75	79	104	103	117	118	114	138	116	133	135	148	175	194	1,890	66.1%
横浜市	29	67	60	62	49	48	44	42	35	37	41	66	34	39	51	44	748	26.2%
神奈川県	11	1		3	2	1	1	1		2		2	1	2	3	1	31	1.1%
東京都	16	26	27	10	9	6	9	7	3	6	4	5	3	5	3	3	142	5.0%
その他	3	5	5	4	2	4	4	1	3	5	3	1		2	4	3	49	1.7%
計	109	190	167	158	166	162	175	169	155	188	164	207	173	196	236	245	2,860	100.0%

入院患者 市内住居区

区	入院者数	比率
川崎区	13	6.4%
幸区	18	8.8%
中原区	49	24.0%
高津区	66	32.4%
宮前区	32	15.7%
多摩区	20	9.8%
麻生区	6	2.9%
計	204	100.0%

表9 入院患者の平均年齢

年月	性別		全体
	男性	女性	
10年10月～11年 3月	66.5	65.2	65.9
11年 4月～12年 3月	64.8	62.9	63.9
12年 4月～13年 3月	64.9	63.7	64.3
13年 4月～14年 3月	65.4	64.2	64.9
14年 4月～15年 3月	65.9	64.5	65.4
15年 4月～16年 3月	67.4	68.6	67.9
16年 4月～17年 3月	70.1	70.2	70.1
17年 4月～18年 3月	69.8	67.4	68.9
18年 4月～19年 3月	71.3	66.6	69.6
19年 4月～20年 3月	71.3	69.5	70.6
20年 4月～21年 3月	72.9	69.5	71.2
21年 4月～22年 3月	70.9	68.4	70.0
22年 4月～23年 3月	74.1	68.9	71.6
23年 4月～24年 3月	71.0	71.1	71.1
24年 4月～25年 3月	72.0	71.2	71.7
25年 4月～26年 3月	72.5	70.7	71.6

表10 入院患者の性別年代別分布

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代～	計
10年10月 ～11年 3月	男性				5	9	17	20	6		57
	女性				4	16	12	11	8	1	52
	小計	0	0	0	9	25	29	31	14	1	109
11年 4月 ～12年 3月	男性		2	3	5	22	28	28	11		99
	女性				12	32	22	15	10		91
	小計	0	2	3	17	54	50	43	21	0	190
12年 4月 ～13年 3月	男性			2	4	23	22	20	11		82
	女性		1	1	10	20	25	12	14	2	85
	小計	0	1	3	14	43	47	32	25	2	167
13年 4月 ～14年 3月	男性		1		4	25	26	24	5	1	86
	女性	1		1	2	22	21	14	10	1	72
	小計	1	1	1	6	47	47	38	15	2	158
14年 4月 ～15年 3月	男性		2	4	6	13	35	32	9	2	103
	女性	1		3	3	15	17	12	11	1	63
	小計	1	2	7	9	28	52	44	20	3	166
15年 4月 ～16年 3月	男性				8	15	30	24	12	2	91
	女性			1	3	15	17	19	12	4	71
	小計	0	0	1	11	30	47	43	24	6	162
16年 4月 ～17年 3月	男性			2	4	13	24	36	20	3	102
	女性		1		5	8	14	27	15	3	73
	小計	0	1	2	9	21	38	63	35	6	175
17年 4月 ～18年 3月	男性			1	5	15	25	37	18	3	104
	女性			1	3	13	17	17	14		65
	小計	0	0	2	8	28	42	54	32	3	169
18年 4月 ～19年 3月	男性		2	2	1	8	22	39	20	4	98
	女性		1	3	8	5	8	17	13	2	57
	小計	0	3	5	9	13	30	56	33	6	155
19年 4月 ～20年 3月	男性				3	12	33	37	25	2	112
	女性			1	3	14	22	17	14	5	76
	小計	0	0	1	6	26	55	54	39	7	188
20年 4月 ～21年 3月	男性				3	7	13	36	19	2	80
	女性			1	4	14	19	25	20	1	84
	小計	0	0	1	7	21	32	61	39	3	164
21年 4月 ～22年 3月	男性			1	7	5	33	35	25	4	110
	女性	1	1		7	13	29	22	20	4	97
	小計	1	1	1	14	18	62	57	45	8	207
22年 4月 ～23年 3月	男性		1	1	1	8	12	33	27	7	90
	女性			2	7	13	19	19	20	3	83
	小計		1	3	8	21	31	52	47	10	173
23年 4月 ～24年 3月	男性				7	16	24	26	29	4	106
	女性			1	4	12	20	27	21	5	90
	小計	0	0	1	11	28	44	53	50	9	196
24年 4月 ～25年 3月	男性				6	16	31	51	31	7	142
	女性			2	6	17	11	27	22	9	94
	小計			2	12	33	42	78	53	16	236
25年 4月 ～26年 3月	男性				4	4	42	48	26	5	129
	女性			1	7	13	29	37	25	4	116
	小計			1	11	17	71	85	51	9	245
10年 10月 ～26年 3月	男性計	0	8	16	73	211	417	526	294	46	1,591
	女性計	3	4	18	88	242	302	318	249	45	1,269
	合計	3	12	34	161	453	719	844	543	91	2,860



## (2) 緩和ケア研修会

平成 24 度に引き続き、地域がん診療連携拠点病院として、緩和ケア研修会（計 8 回、8 単位）を開催し、院内、院外より延 346 名の医療従事者の参加を得ました。

当研修会は、神奈川県単位型緩和ケア研修会、神奈川県医療従事者向け研修会として位置づけられており、平成 25 年度は医師 5 名、医師以外医療従事者 17 名が緩和ケア研修会修了証書の交付を受けました。

## (3) かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会

今年度も、かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会（計 5 回）を隔月で開催し、院内より 100 名、院外より 114 名、計 214 名の参加を得ました。今年度は外部講師の協力を得て幅広く内容の充実を図り、第 5 回のケアーズの秋山正子さん講演のときは 92 名の参加がありました。なかなかグループディスカッションの時間がとれず、直接の交流につながらない状況が続いていますが、継続して開催することで、顔の見える関係は少しずつひろがっており、今後、より一層の地域づくり、ネットワークづくりにつなげていきたいと考えます。

		院外	院内	参加者
第1回	2013/5/16	27	18	45
第2回	2013/7/18	24	16	40
第3回	2013/9/19	16	26	42
第4回-1	2013/10/13	11	15	26
第4回-2	2013/10/13	11	17	28
第4回-3	2013/10/13	9	19	28
第4回-4	2013/10/13	11	19	30
第5回-1	2013/11/10	6	13	19
第5回-2	2013/11/10	12	16	28
第6回	2013/11/21	6	14	20
第7回	2014/1/16	8	18	26
第8回	2014/3/20	5	9	14
	計	146	200	346
※単位型緩和ケア研修修了者 医師 5 名（院内 4 名、院外 1 名）				
※神奈川県医療従事者向け緩和ケア研修会修了者 医師以外 17 名（院内 3 名、院外 14 名）				

表2 平成25年度「かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会」参加者数

		院外	院内	参加者
第1回	2013/6/20	15	17	32
第2回	2013/8/15	15	21	36
第3回	2013/10/17	17	13	30
第4回	2013/12/19	5	19	24
第5回	2014/2/20	62	30	92
	計	114	100	214

平成25年度 川崎市立井田病院 緩和ケア研修会 プログラム

「緩和ケア研修会 及び 緩和ケアスキルアップ研修会」

及び「緩和ケア フォローアップ研修会」

1. 時 間：緩和ケア研修会（夜間コース①～④） 18：30～20：00  
 緩和ケア研修会（日曜コース①～②） 9：00～16：30  
 緩和ケアスキルアップ研修会（①～④） 20：00～20：30  
 緩和ケアフォローアップ研修会(①～②) 18：30～20：30

2. 場 所：川崎市立井田病院 新棟2階 会議室

3. 研修対象者：医師 / 医療従事者

4. 研修会企画責任者：宮森 正

5. プログラム日程表

○必修項目（標準単位に該当）

△非必修項目（オリジナルプログラム、標準単位に非該当）

回	日時	テーマ	時間	担当者(予定)	役職・職種
緩和ケア研修会 第1回 (夜間①)	5月16日 (木)	*がん性疼痛の機序、評価及びWHO方式のがん性疼痛治療法の概略及び緩和ケアにおけるその他の課題 [講義] ・プレテスト/プレテスト解説 ○全人的な緩和ケアについての要点(総論) ○疼痛の評価 ○WHO方式がん性疼痛治療法 ○オピオイドの種類と特徴 ○オピオイドの副作用と対策	18:30 ～ 20:00  ○1.5h	宮森 正 宮森 正 宮森 正 宮森 正 宮森 正	医師 医師 医師 医師 医師
緩和ケアスキルアップ研修会 ①	5月16日 (木)	がん・緩和ケアの地域連携	20:00 ～ 20:30 △0.5h	宮森 正	医師

緩和ケア研修会 第2回 (夜間②)	7月18日 (木)	<p>*がん性疼痛の治療法の実際及び緩和ケアにおけるその他の課題 [講義]</p> <p>・プレテスト/プレテスト解説</p> <p>○ NSAIDS(投与の実際と副作用)</p> <p>○ 神経因性疼痛及び鎮痛補助薬</p> <p>○ 放射線療法や神経ブロックの適応も含めた専門的な緩和ケアへの依頼の要点</p> <p>①緩和ケアの神経ブロック</p> <p>②緩和ケアの放射線療法</p> <p>③緩和的化学療法</p>	18:30 ～ 20:00 0  ○1.5h	<p>安藤 孝 宮森 正</p> <p>狩野真由美 石黒 浩史 西 智弘</p>	<p>医師 医師</p> <p>医師 医師 医師</p>
緩和ケアスキルアップ研修会②	7月18日 (木)	地域における在宅緩和ケアの実際	20:00 ～ 20:30 △0.5h	林 孝平	<p>医師 綱島ホームケア クリニック</p>
緩和ケア研修会 第3回 (夜間③)	9月19日 (木)	<p>*呼吸困難、消化器症状等の身体症状に対する緩和ケア [講義]</p> <p>・プレテスト/プレテスト解説</p> <p>○身体症状に対する緩和ケアの講義</p> <p>①呼吸困難</p> <p>②嘔気・嘔吐・消化管閉塞・輸液療法</p> <p>③がん患者の皮膚ケア・リンパ浮腫</p> <p>④がん患者の口腔ケア</p> <p>⑤終末期の栄養ケア</p>	18:30 ～ 20:00 0  ○1.5h	<p>佐藤 将之 石黒 浩史 鈴木 果里 奈 植野 琢也 北田 多絵</p>	<p>医師 医師 看護師 歯科医師 栄養士</p>
緩和ケアスキルアップ研修会③	9月19日 (木)	<p>△モルヒネ・フェンタニル・オキシコドンの薬理代謝製剤</p> <p>△症例；薬の使い方について・症例</p>	20:00 ～ 20:30 △0.5h	<p>松岡 利香 宮森 正</p>	<p>薬剤師 医師</p>

緩和ケア研究会 第4回 (日曜①)	10月13日(日)	<p>* がん性疼痛の機序、評価及びWHO方式のがん性疼痛治療法の概略及び緩和ケアにおけるその他の課題</p> <p>[講義] プレテスト/プレテスト解説</p> <p>○ 全人的な緩和ケアについての要点(総論)</p> <p>○ 疼痛の評価</p> <p>○ WHO方式がん性疼痛治療法</p> <p>○ オピオイドの種類と特徴</p> <p>○ オピオイドの副作用と対策</p>	9:00 ~ 10:30	※5/16 (夜間①)に相当	<p>宮森 正 医師</p> <p>宮森 正 医師</p> <p>宮森 正 医師</p> <p>西 智弘 医師</p> <p>西 智弘 医師</p>
		<p>* がん性疼痛の治療法の実際及び緩和ケアにおけるその他の課題</p> <p>[講義] プレテスト/プレテスト解説</p> <p>○ NSAIDS</p> <p>○ 神経因性疼痛及び鎮痛補助薬</p> <p>○ 放射線療法や神経ブロックの適応も含めた専門的な緩和ケアへの依頼の要点</p> <p>① 緩和ケアの神経ブロック</p> <p>② 緩和ケアの放射線療法</p> <p>③ 緩和的化学療法</p>	10:45 ~ 12:15	※7/18 (夜間②)に相当	<p>宮森 正 医師</p> <p>宮森 正 医師</p> <p>西 智弘 医師</p> <p>西 智弘 医師</p> <p>西 智弘 医師</p>
		<p>* 呼吸困難、消化器症状等の身体症状に対する緩和ケア</p> <p>[講義] プレテスト/プレテスト解説</p> <p>○ 身体症状に対する緩和ケアの講義</p> <p>① 呼吸困難</p> <p>② 嘔気・嘔吐・消化管閉塞・輸液療法</p> <p>③ がん患者の皮膚ケア・リンパ浮腫</p> <p>④ がん患者の口腔ケア</p> <p>⑤ 終末期の栄養ケア</p>	13:15 ~ 14:45	※9/19 (夜間③)に相当	<p>佐藤 将之 医師</p> <p>佐藤 将之 医師</p> <p>筒井 祥子 看護師</p> <p>植野 琢也 歯科医師</p> <p>北田 多絵 栄養士</p>
		<p>* 不安、抑うつ及びせん妄等の精神症状に対する緩和ケア</p> <p>[講義] プレテスト/プレテスト解説</p> <p>○ 精神症状に対する緩和ケアの講義</p> <p>① 抑うつと希死念慮・せん妄</p> <p>② 症例：抗精神病薬の使い方・症例</p> <p>③ 抗うつ剤・抗不安剤の薬理代謝製剤</p> <p>④ 抗精神病薬の薬理代謝製剤</p> <p>⑤ 症例：パニック・鬱の患者・家族の</p>	15:00 ~ 16:30	※1/16 (夜間④)に相当	<p>徳納 健二 医師</p> <p>徳納 健二 医師</p> <p>兼重 和美 薬剤師</p> <p>兼重 和美 薬剤師</p> <p>森 昭子 看護師</p>

<p>緩和ケア研究会 第5回-1 (日曜②)</p>	<p>11月10日 (日)</p>	<p>*がん性疼痛についてのワークショップ [ワークショップ] ・アイスブレイキング ○グループ演習による症例検討 a がん性疼痛を持つ患者の評価及び治療 b がん性疼痛に対する治療と処方箋の実際の記載 ○ロールプレイングによる医療用麻薬を処方するときの患者への説明についての演習 ・医療用麻薬の誤解を解く ・医療用麻薬の副作用と対策の説明を行う</p>	<p>9:00～12:00 ○3.0h</p>	<p>宮森 正 徳納 健二 山岸 正 西 智弘 佐藤 将之 佐藤 恭子 筒井 祥子 目時 陽子 武見 綾子 有野かおる 森 充子 石丸 治男</p>	<p>医師 医師 医師 医師 医師 看護師 看護師 看護師 医療ソーシャルワーカー コーディネーター 心理士</p>
<p>緩和ケア研究会 第5回-2 (日曜②)</p>	<p>11月10日 (日)</p>	<p>*がん医療におけるコミュニケーション技術及び緩和ケアにおけるその他の課題についての講義及びワークショップ [講義] ・プレテスト/プレテスト解説 ○がん医療におけるコミュニケーション技術 ・基本的なコミュニケーション ・悪い知らせの伝え方・スピリチュアルケア ○療養場所の選択と地域連携についての要点 ①地域連携 ②緩和ケアへのスムーズな移行 ○在宅における緩和ケア  [ワークショップ] ・アイスブレイキング ○グループ討議による患者への悪い知らせの伝え方についての検討 ○ロールプレイによる患者への悪い知らせの伝え方についての演習</p>	<p>13:00～14:30 ○1.5h          15:00～16:30 ○1.5h</p>	<p>徳納 健二       池水亜由美 森 充子 宮森 正  AMと同スタッフ</p>	<p>医師       医療ソーシャルワーカー コーディネーター 医師  AMと同スタッフ</p>

緩和ケア 研修会 第6回 フォローアップ 研修会①	11月21日 (木)	『緩和ケアのトピックス』 △がん末期におけるコミュニケーション技術～がん患者の精神的苦痛・社会的苦痛・スピリチュアルペイン・家庭的苦痛～ △がん患者の家族ケア △がん患者のグリーフケア △がん患者への代替療法 △緩和ケアにおけるリハビリテーション	18:30～ 20:30 △2.0h	石丸 治男 鈴木果里奈 鈴木果里奈 深井 清乃 植松 豊子	心理士 看護師 看護師 看護師 理学療法士
緩和ケア研修会 第7回 (夜間④)	1月16日 (木)	*不安、抑うつ及びせん妄等の精神症状に対する緩和ケア [講義] ・プレテスト/プレテスト解説 ○精神症状に対する緩和ケアの講義 ①抑うつと希死念慮・せん妄 ②症例：抗精神病薬の使い方・症例 ③抗うつ剤・抗不安剤の薬理代謝製剤 ④抗精神病薬の薬理代謝製剤 ⑤症例：パニック・鬱の患者・家族の症例	18:30～ 20:00 ○1.5h	徳納 健二 徳納 健二 兼重 和美 兼重 和美 森 昭子	医師 医師 薬剤師 薬剤師 看護師
緩和ケア スキルアップ 研修会 ④	1月16日 (木)	△コデイン・ブプレノフィン・トラマドール・ペンタゾシンの薬理代謝製剤 △最近の薬剤について	20:00～ 20:30 △0.5h	荻原 あい 西 智弘	薬剤師 医師
緩和ケア 研修会 第8回 フォローアップ 研修会 ②	3月20日 (木)	『緩和ケアのトピックス』 △がん告知の問題 △がん患者の鎮静・DNR・倫理 △早期からの緩和ケア	18:30～ 20:30 △2.0h	宮森 正 安藤 孝 西 智弘	医師 医師 医師

# 平成25年度 「かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会」

## プログラム

1. 時間：18：30～20：30
2. 場所：川崎市立井田病院 新棟2階 会議室
3. 参加対象者：医療従事者、福祉・介護関係者等で在宅ケア・緩和ケア従事者及び関心のある方
4. プログラム日程表：

	日時	テーマ
第1回	6月20日 (木)	『介護問題を抱える高齢者 ～地域でどう支えていくか～』 ・講演「在宅と病院をとりまく介護問題」 かわさき総合ケアセンター 所長 宮森 正 ・症例検討「介護者の交代に伴い介護不全が生じた事例」 訪問看護ステーション井田 花岡 浩美 ・話題提供「『病院の世紀の理論』とコミュニティデザインの手法」 かわさき総合ケアセンター 副医長 西 智弘 ・グループディスカッション 「コミュニティで高齢者を支えるために必要な連携とは？」
第2回	8月15日 (木)	『認知症の在宅ケア』 ・講演①「家庭医療からみる認知症：最新のエビデンスをふまえて」 川崎セツルメント診療所 所長 遠井 敬大 ・講演②「認知症の看護ケア」 川崎市立井田病院 認知症看護認定看護師 曾我部 雅代 ・症例検討「認知症・独居の高齢者を支えた事例」 いだ地域包括支援センター 所長 横山 正太 ・グループディスカッション 「この患者さん、どうやって在宅でみましょう？：認知症・独居高齢者」



<p>第 10 月 3 17 日 回 (木)</p>	<p>『がんの在宅ケア』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 症例検討「疼痛管理テープ剤と注射剤のオピオイドローテーションの問題」  <div style="text-align: right;">丈夫屋メディカル薬局 橋本 秀文</div> </li> <li>・ 講義「がんの緩和ケア：がん看護の課題と役割」  <div style="text-align: right;">川崎市立井田病院 がん看護専門看護師 武見 綾子</div> </li> <li>・ 講演「在宅ケアにおけるがんコンシェルジュの可能性」  <div style="text-align: right;">一般社団法人 CAN net 代表理事 杉山 絢子</div> </li> <li>・ パネルディスカッション  「がん患者さんが在宅で安心して過ごすための連携とは」</li> </ul>
<p>第 12 月 4 19 日 回 (木)</p>	<p>『寝たきりの予防と褥瘡』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 症例検討「姿勢と ADL の関係性」  <div style="text-align: right;">ケアーズ訪問看護リハビリステーション中原 杉山 愛鈴</div> </li> <li>・ 話題提供「サルコペニアとは」  <div style="text-align: right;">川崎市立井田病院 医師 西 智弘</div> </li> <li>・ 講演「褥瘡の予防と治療」  <div style="text-align: right;">川崎市立井田病院 WOC 看護認定看護師 大溝 茂美</div> </li> <li>・ グループワーク  「寝たきり・褥瘡予防のために、あなたができることは？」</li> </ul>
<p>第 2 月 5 20 日 回 (木)</p>	<p>『看取り』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「独居状態の癌患者の看取りに関わって」  <div style="text-align: right;">ソフィア訪問看護ステーション元住吉 小瀬 誠</div> </li> <li>・ 「小規模多機能型居宅介護と看取り」  <div style="text-align: right;">株式会社ゆい 代表取締役 佐藤 和世</div> </li> <li>・ 講演「地域の中で看取ること～訪問看護と暮らしの保健室から」  <div style="text-align: right;">ケアーズ・白十字訪問看護ステーション 代表取締役 秋山 正子</div> </li> <li>・ ディスカッション</li> </ul>

#### (4) 在宅ケア・医療相談部門

医療相談は、高齢者の増加、特に、後期高齢者、超高齢者が増加しており、必然的に、高齢独居、老老世帯、認知症世帯、日中独居などの激増がみられ、退院支援の難度が高まっていますが、ケースワーカーは、解決に持っていくように努力しています。施設患者の場合は、入院により、医療依存度が高まると、退院後の受け入れが困難となる場合もあり、退院先の確保に苦勞する例も増加しています。

24時間連携診療体制は、地域の医療機関と患者の安全安心な在宅ケアを支援することが出来ます。

在宅ケア患者は、154例で、内、がん患者は101例65.6%でした。在宅ケア患者の死亡例は107例で、重症・終末期などの医療依存度の高い在宅ケアを行う基本的方針となっています。在宅看取りは56例、緩和ケア病棟に入院後死亡40例となっており、在宅終末期ケアを中心とした診療・看護を行っています。当院では、病棟、在宅、緩和ケア病棟との連携の中で、終末期ケアを確保することが出来ます。このために、地域の看護、介護担当者とも、良好で円滑な協力体制を作り上げています。

(文責 ケアセンター所長 宮森 正)

#### ア. 医療相談

表1-1 MSW取り扱い実数				表1-2退院支援計画書作成数 (入院7日以内介入)		
新規実数		依頼票あり	依頼票なし	合計		
内訳	在宅へ調整	972	131	1103	転院	34
	他施設転院	590			施設	44
	社会福祉諸制度・医療費	325			在宅	155
	その他	44			死亡	27
		13			合計	260

表2-1 相談数		
	MSW	
	相談実数	相談延数
4月	133	746
5月	149	936
6月	137	903
7月	170	1226
8月	175	1339
9月	171	1071
10月	184	1154
11月	167	1248
12月	188	1312
1月	182	1197
2月	160	964
3月	179	1240
合計	1995	13336

表2-2 地域がん診療連携拠点病院がん相談支援センター相談数

	MSW				看護職				がん相談員				合計			
	実数		延数		実数		延数		実数		延数		実数		延数	
	院内	院外	院内	院外	院内	院外	院内	院外	院内	院外	院内	院外	院内	院外	院内	院外
4月	27	4	158	4	16	0	19	0	23	13	29	19	66	17	206	23
5月	23	4	161	4	10	0	11	0	26	12	30	16	59	16	202	20
6月	21	4	128	4	12	0	12	0	28	5	31	6	61	9	171	10
7月	35	5	249	8	5	0	5	0	22	8	27	16	62	13	281	24
8月	36	4	348	4	5	0	5	0	25	20	29	27	66	24	382	31
9月	37	7	248	8	6	0	6	0	30	6	32	6	73	13	286	14
10月	41	6	269	7	6	0	6	0	11	6	11	8	58	12	286	15
11月	48	0	367	0	9	0	9	0	7	6	7	8	64	6	383	8
12月	51	3	479	3	5	0	5	0	16	10	16	13	72	13	500	16
1月	36	1	302	1	2	0	2	0	17	14	17	16	55	15	321	17
2月	32	2	179	3	4	0	4	0	15	11	15	13	51	13	198	16
3月	41	4	302	4	1	0	8	0	22	9	22	11	64	13	332	15
合計	428	44	3190	50	81	0	92	0	242	120	266	159	751	164	3548	209

表3 MSW援助方法(延べ数)

		在宅	外来	入院	他	連携	合計
医療相談	面接	5	133	4040	17	0	4195
	電話	12	361	8019	150	5	8547
	訪問	0	0	0	0	0	0
	文書	0	11	409	2	0	422
ケアマネジメント	面接	28	0	2	0	0	30
	電話	108	1	0	0	0	109
	訪問	26	1	0	0	0	27
	文書	6	0	0	0	0	6
合計		185	507	12470	169	5	13336

表5 24時間連携登録医院・患者数

医院名	患者数
日横クリニック	92
リッツクリニック	2
新吉田医院	6
井田内科医院	0
豊崎医院	1
住吉診療所	0
中島クリニック	4
宮崎医院	4
綾部内科クリニック	5
みやぎ内科クリニック	0
のなみクリニック	0
松本クリニック	9
千年診療所	0
たかみざわ医院	4
おばな内科クリニック	0
福住医院	33
信愛ホームケアクリニック	2
上杉クリニック	2
合計	164

表4 MSW援助内容(延べ数)

内容	延べ数
受療・療養援助	44
転院・他施設紹介援助	1703
経済的援助	58
受診援助	59
在宅退院への援助	1957
心理的情緒的援助	18
福祉制度活用援助	238
関係機関連絡調整	6509
病状・新ケース把握	127
家族支援 精神的・心理的	69
在宅介護保険サービス活用援助	108
その他	138
院内調整	2308
計	13336

表6 川崎市在宅障害児者短期入所事業(ショートステイ)利用状況

実数	延数	延入院日数 (平均)	地区別					障害等級				利用理由			
			川崎	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生	1級	2級	3級	4級	社会的	私的
3	16	6.3		16						16					16

イ. 在宅ケア（訪問診療・訪問看護）

表1 往診件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H23年度	106	117	124	98	121	127	116	109	109	93	121	136	1377
H24年度	144	127	112	133	183	173	138	195	137	129	163	161	1795
H25年度	139	185	131	172	193	160	122	129	147	101	101	150	1730

表2 訪問看護件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H23年度	43	54	85	86	85	64	66	73	82	78	79	67	862
H24年度	68	65	43	42	49	47	42	53	42	40	42	47	580
H25年度	45	50	42	41	72	43	60	61	48	43	36	50	591

表3 往診患者実数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H23年度患者実数	47	52	54	50	62	59	58	58	52	52	56	52	134
H23年度がん患者数	13	16	19	15	25	25	24	24	20	21	23	19	73
H23年度がん患者比率	27.7%	30.8%	35.2%	30.0%	40.3%	42.4%	41.4%	41.4%	38.5%	40.4%	41.1%	36.5%	54.5%
H24年度患者実数	45	51	49	48	63	70	60	62	60	63	71	69	171
H24年度がん患者数	18	20	17	17	25	29	25	26	30	33	37	32	101
H24年度がん患者比率	40.0%	39.2%	34.7%	35.4%	39.7%	41.4%	41.7%	41.9%	50.0%	52.4%	52.1%	46.4%	59.1%
H25年度患者実数	55	55	51	48	49	46	43	52	53	55	47	50	154
H25年がん患者数	24	21	18	19	19	19	18	25	25	27	20	24	101
H25年がん患者比率	43.6%	38.2%	35.3%	39.6%	38.8%	41.3%	41.9%	48.1%	47.2%	49.1%	42.6%	48.0%	65.6%

表4 訪問看護患者実数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H23年度患者実数	14	17	21	17	21	19	18	18	16	16	15	13	37
H23年度がん患者数	7	10	13	9	12	10	9	9	8	9	7	7	27
H23年度がん患者比率	50.0%	58.8%	61.9%	52.9%	57.1%	52.6%	50.0%	50.0%	50.0%	56.3%	46.7%	53.8%	73.0%
H24年度患者実数	17	17	16	18	22	21	19	16	16	17	20	16	40
H24年度がん患者数	4	5	5	6	7	7	7	5	5	6	8	6	26
H24年度がん患者比率	23.5%	29.4%	31.3%	33.3%	31.8%	33.3%	36.8%	31.3%	31.3%	35.3%	40.0%	37.5%	65.0%
H25年度患者実数	8	10	8	8	10	7	10	11	8	8	7	9	38
H25年度がん患者数	5	5	4	5	6	5	6	6	4	3	3	4	30
H25年度がん患者比率	62.5%	50.0%	50.0%	62.5%	60.0%	71.4%	60.0%	54.5%	50.0%	37.5%	42.9%	44.4%	78.9%

表5 受け入れ会議実施患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H23年	9	6	7	5	13	9	5	10	4	4	15	10	97
H24年	7	11	6	10	21	12	9	15	13	9	12	7	132
H25年	15	13	10	7	11	8	10	16	8	7	5	7	117

表6 受け入れ会議実施患者数中のがん患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H23年	6	5	5	3	11	7	2	5	3	3	11	7	68
	66.7%	83.3%	71.4%	60.0%	84.6%	77.8%	40.0%	50.0%	75.0%	75.0%	73.3%	70.0%	70.1%
H24年	7	5	2	7	15	9	7	11	13	6	11	5	98
	100.0%	45.5%	33.3%	70.0%	71.4%	75.0%	77.8%	73.3%	100.0%	66.7%	91.7%	71.4%	74.2%
H25年	11	9	7	5	7	8	10	14	5	5	3	6	90
	73.3%	69.2%	70.0%	71.4%	63.6%	100.0%	100.0%	87.5%	62.5%	71.4%	60.0%	85.7%	76.9%

表7 夜間・休日往診件数総数 (平日日中以外の総数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H23年	16	23	27	36	27	32	27	21	30	24	44	34	341
H24年	31	20	19	28	35	21	22	39	15	24	32	29	315
H25年	26	48	21	31	38	26	20	17	30	11	5	30	303

表8 夜間往診件数 (17:00~8:30の往診件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H23年	9	15	15	21	16	22	8	14	15	18	30	17	200
H24年	17	10	7	18	20	16	7	15	4	13	17	13	157
H25年	19	36	17	18	26	16	14	14	19	6	3	25	213

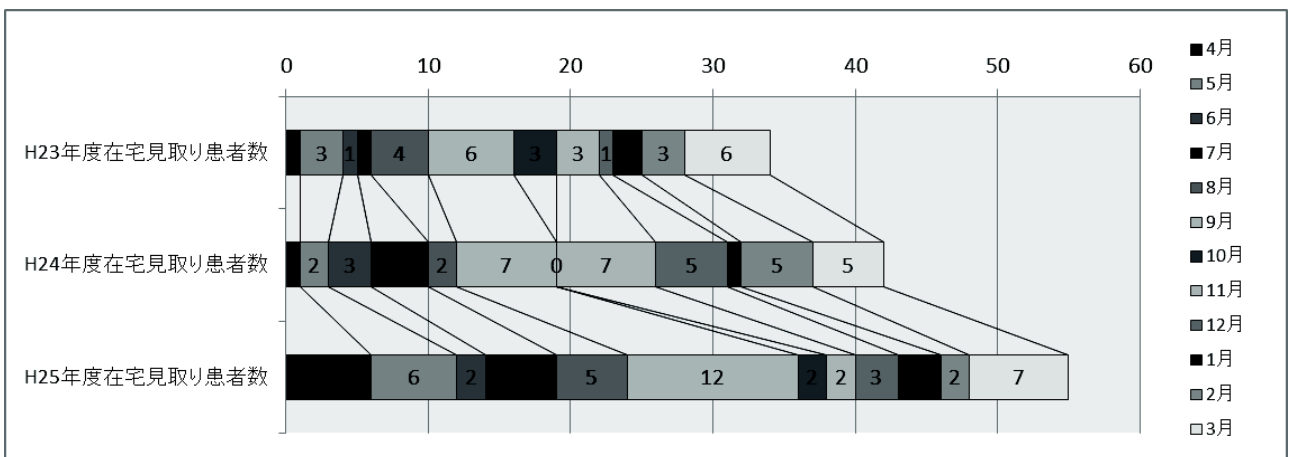
表9 土日・休日往診件数 (土日休日の8:30~17:00の往診件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H23年	7	8	12	15	11	10	19	7	15	6	14	17	141
H24年	14	10	12	10	15	5	15	24	11	11	15	16	158
H25年	7	12	4	13	12	10	6	3	11	5	2	5	90

表10 在宅見取り患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H23年度在宅見取り患者数	1	3	1	1	4	6	3	3	1	2	3	6	34
H24年度在宅見取り患者数	1	2	3	4	2	7	0	7	5	1	5	5	42
H25年度在宅見取り患者数	6	6	2	5	5	12	2	2	3	3	2	7	55

表11 終了患者中の在宅看取り件数



## 患者実数集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
患者実数	55	56	49	49	51	48	45	54	54	47	47	50	155
がん	25	25	18	20	19	19	17	25	26	22	20	24	101
非がん	30	31	31	29	32	29	28	29	28	25	27	26	54

男性	87
女性	68
計	155

がん	101
非がん	54
計	155

当院	113
他院	42
計	155

外来から	36
入院から	110
他院から	8
その他	1
計	155

川崎区	0
幸区	7
中原区	63
高津区	42
宮前区	7
港北区	35
その他	1
計	155

配偶者	74
子	57
子の配偶者	5
親	1
兄弟	1
孫	0
その他	3
介護者なし	12
介護者不要	2
計	155

J	3
A	3
B	53
C	96
計	155

(訪問診療導入時)

要介護5	60
要介護4	26
要介護3	12
要介護2	19
要介護1	13
要支援2	5
要支援1	0
申請中	9
申請せず	11
計	155

(現在または在宅終了時)

在宅期間	全患者	がん	非がん	在宅見取り	n=125
1~29	44	35	9	20	
30~89	43	37	6	20	
90~179	16	13	3	6	
180~	22	7	15	10	
計(人)	125	92	33	56	
平均(日)	216.0	61.5	646.8	110.0	
最長(日)	5419	377	5419	923	
最短(日)	1	1	1	2	

表22 患者実数中疾患内訳		表23 在宅終了内訳(3月末日時点)	
悪性腫瘍	101	在宅	56
脳血管疾患	8	PCUで永眠	40
神経難病	2	4東で永眠	3
呼吸器疾患	7	一般(ICU含む)で永眠	8
循環器系疾患	8	入院中	4
腎泌尿器疾患	3	その他	16
認知症他精神疾患	5	往診継続中	28
消化器肝胆道系疾患	4		
内分泌代謝系疾患	1		
膠原病	1		
筋骨格系結合組織疾患	3		
老衰 廃用性症候群	8		
無酸素脳症	0		
損傷,中毒およびその他の外因の影響	1		
ご家族	2		
その他	1		
計	155	計	155

表24 主な医療処置	
バルンカテーテル	34
GE・摘便	32
吸引	30
胃瘻・経管	22
褥瘡	15
皮下点滴	14
創傷処置	10
CVポート	9
ストマ・ウロストミー	8
CSI	4
膀胱洗浄	3
気管切開	1
人工呼吸器	0
その他	7
医療処置なし	40
計	229

表25 在宅指導料	
寝たきり指導管理料(1,050点)	61
管理指導料なし	38
HOT(2,500+4,000+880+300点)	34
がん性疼痛:麻薬使用(200点)	32
CV(3,000+1,250+2,000点)	9
在宅悪性腫瘍:CSI(1,500+300点)	4
自己注射:インスリン(820+400~1,500点)	1
その他:腹膜透析(4,000+2,500点)	1
計	180

表26 訪問看護担当内訳	
当院	38
外部事業所	87
訪問看護導入なし	29

表27 外部事業所の訪問看護ステーション担当件数	
訪問看護ステーション井田	34
アットリハ新城	11
ひよこ訪問看護ステーション	6
さいわい訪問看護ステーション夢見ヶ崎	5
なかはら正吉苑	4
やすらぎ訪問看護ステーション	4
青鷺訪問看護ステーション	3
ケアーズ訪問看護リハビリステーション	3
ソフィア訪問看護ステーション元住吉	2
ほのぼの訪問看護ステーション溝の口	2
かわさき訪問看護ステーション	1
さいわい訪問看護ステーション	1
ジャパンケア川崎高津	1
セコム鷺沼訪問看護ステーション	1
アットリハ平間	1
ソフィアと当院	1
訪問看護ステーションふわり	1
溝の口訪問看護ステーション	1
ウエルケア新吉田	1
港北区医師会	1
港北区医療センター	1
ひまわり訪問看護ステーション	1
訪問看護リハビリステーション櫻の大樹	1
妙蓮寺訪問看護ステーション	1
計	88



ウ. 介護保険(居宅介護支援事業)

表1ケアマネジメント取り扱い件数(区分別)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	ケアプラン数
4月	2	0	0	0	2	4	4
5月	2	0	0	0	2	4	4
6月	2	0	0	0	1	3	3
7月	2	0	0	0	1	3	3
8月	2	0	0	0	2	4	4
9月	2	0	0	0	2	4	4
10月	2	0	0	0	1	3	3
11月	2	0	0	0	1	3	3
12月	2	0	0	0	1	3	3
1月	2	0	0	0	1	3	3
2月	2	0	0	0	1	3	3
3月	2	0	0	0	1	3	3
合計	24	0	0	0	16	40	40

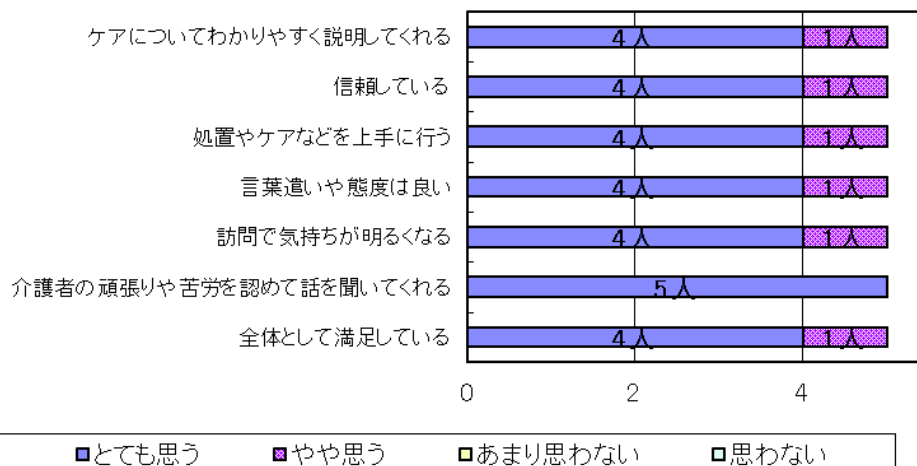
表2ケアマネジメント援助方法(延べ数)

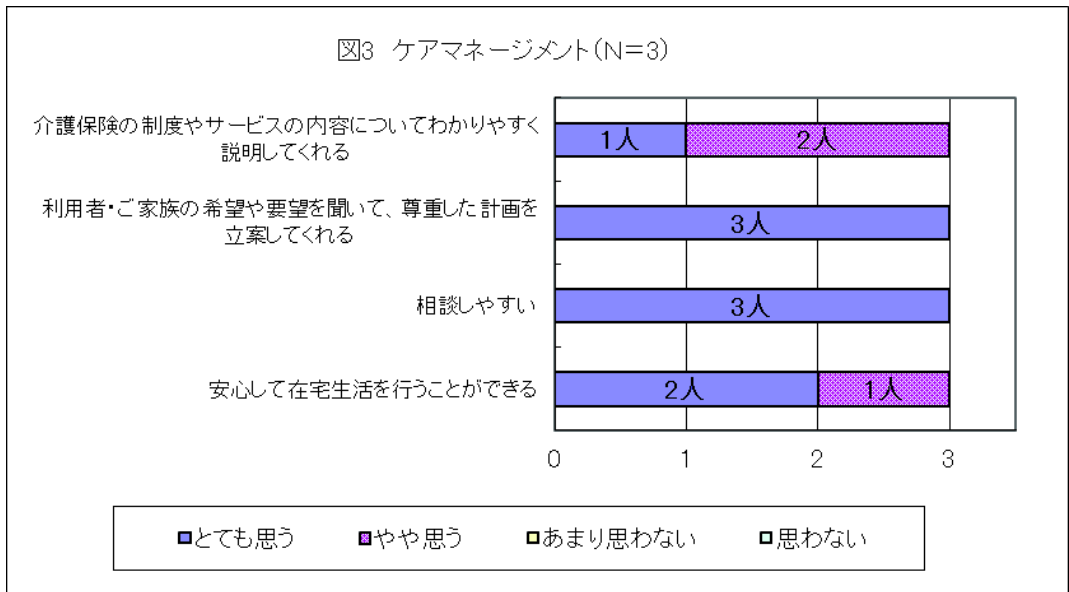
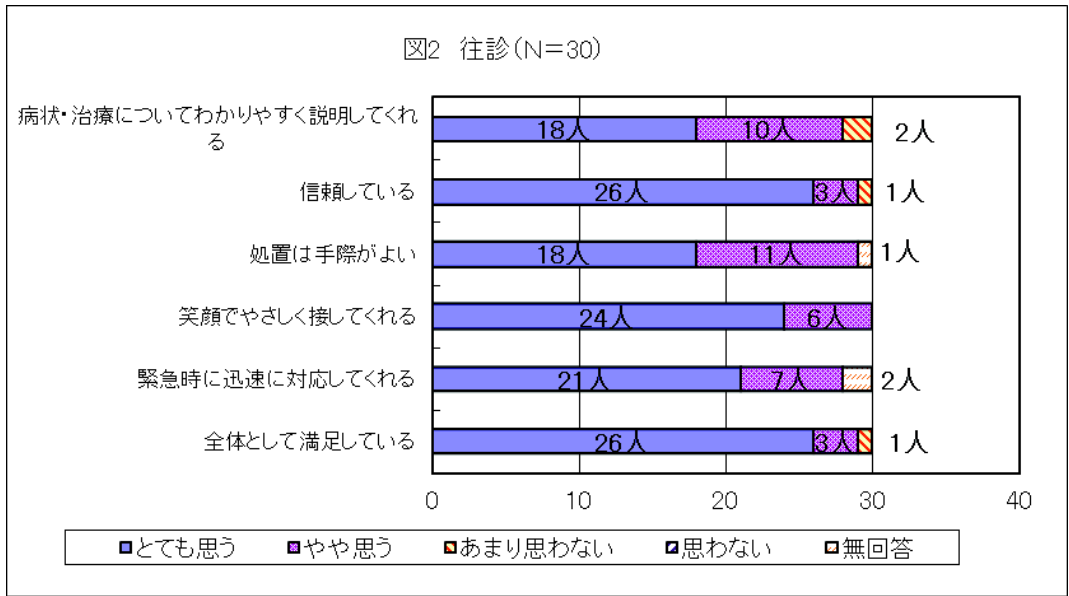
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問	4	5	2	2	7	4	3	2	3	3	3	3	41
面接	3	1	0	4	9	2	1	2	2	2	2	2	30
電話	7	9	3	9	34	16	3	5	5	12	5	4	112
文書	0	0	0	1	4	3	1	0	0	0	0	0	9

エ 患者家族満足度調査報告

配布数・・・53枚 回収数・・・38枚

図1 訪問看護(N=5)





(4) がん相談支援センター

がん相談支援センターでは、がん相談やがんサロンの開催、セカンドオピニオンの申込受付等を行っています。セカンドオピニオンは 2013 年度は他院から当院に 16 名の相談があり、11 名受診されています。

## (5) 井田デイサービスセンター

井田デイサービスセンターは、川崎市指定管理者制度に基づき、事業所管理、運営に関する事項を社会福祉法人和楽会が委託を受け、介護保険法に位置づけられる通所介護事業を行っています。

2013年度も、デイサービスをご利用になられる方々全員へアンケート調査を実施し、サービスの向上、満足度の向上に努めました。今後も更なるサービスの向上に努めます。職業体験や看護実習、教員実習も受け入れ、広く老人介護の理解を深めていただくよう取り組みました。また、いだ地域包括支援センター、井田居宅介護支援センター、井田病院との連携を図り、これからも地域の方々に信頼される井田デイサービスを運営していきます。

### ① 利用状況

「延べ利用者数」は 5,429 名（前年比 84.9%）、1日当たりの平均利用人数 21.3 名で前年度に比べ、利用者数は減少傾向にあります。井田デイサービスの傾向として、複数利用者が多く、ショートステイや入院者が平均利用者数の減少へ直接的に繋がっています。今後は、スポット的なデイサービスの利用を始め、横浜市港北区、川崎市中原区の居宅介護支援事業所へ新規利用者募集案内や新規利用者受け入れを積極的に行っていきます。

### ② ボランティア・実習生受け入れ

ボランティア	なかよし会・有志会・くぼんぬ	院内ボランティアセントポーリア
職業体験実習	川崎市立井田中学校	
在宅看護実習	川崎看護専門学校	
教員実習	女子美術大学・横浜国立大学・関東学院大学・法政大学・慶應義塾大学	
	東京造形大学・横浜高等教育専門学校	

(文責 井田デイサービスセンター 齋藤 千果)

平成25年度 井田デイサービスセンター 利用状況

・利用者実人数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	24	28	28	28	30	29	32	32	35	32	32	32	362
女	45	44	45	44	44	45	45	50	45	43	43	39	532
合計	69	72	73	72	74	74	77	82	80	75	75	71	894

・利用者延人数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	156	166	145	171	158	145	166	179	168	166	159	210	1989
女	315	317	273	313	299	273	329	292	282	265	243	239	3440
合計	471	483	418	484	457	418	495	471	450	431	402	449	5429

平均要介護													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男	2.2	2.2	2.2	2.2	2.1	2.2	2.4	2.3	2.2	2.2	2.2	2.0	2.2
女	1.8	1.8	1.7	1.9	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7	1.6	1.7	1.7	1.8
平均	2.0	2.0	1.9	2.0	2.0	2.0	2.1	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9

平均年齢/要支援													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男	85.5	85.5	85.6	85.4	85.5	85.5	84.4	84.1	84.2	83.2	83.3	83.4	84.5
女	85.5	85.7	85.8	85.3	85.1	86.5	85.6	85.9	85.1	85.2	85.6	85.9	85.6
平均	85.5	85.6	85.7	85.4	85.3	86.0	85.0	85.0	84.7	84.2	84.5	84.7	85.1

平均年齢/要介護													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男	84.6	83.8	83.9	84.0	83.4	83.2	84.3	82.9	84.0	82.5	81.2	80.6	83.2
女	86.0	86.2	86.8	87.1	87.0	87.0	87.2	86.9	86.7	86.7	86.6	86.2	86.7
平均	85.3	85.0	85.4	85.6	85.2	85.1	85.8	84.9	85.4	84.6	83.9	83.4	85.0

実施日数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計	22	23	20	23	22	20	23	21	20	20	20	21	255

平均利用者数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	21.4	21.0	20.9	21.0	20.8	20.9	21.5	22.4	22.5	21.6	20.1	21.4	21.3

・地域別利用者数							
	幸区	中原	高津	宮前	横浜	その他	
	0	52	21	1	2	0	76

・介護度別利用者数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支援1	44	53	46	43	39	34	48	37	40	42	54	32	512
支援2	66	69	61	71	68	72	75	84	72	71	59	82	850
介護1	140	145	123	140	140	125	151	155	156	133	109	107	1624
介護2	56	58	53	52	51	48	50	43	40	47	41	65	604
介護3	66	56	47	69	64	50	61	54	52	47	42	56	664
介護4	37	39	35	45	45	42	43	40	32	41	51	62	512
介護5	62	63	53	64	50	47	67	58	58	50	46	45	663
合計	471	483	418	484	457	418	495	471	450	431	402	449	5429

・行事实施状況	
4月	花見・室内ゲーム・誕生会・体重測定・リハビリ体操・嚙下体操
5月	室内ゲーム・おやつ作り・誕生会・体重測定・リハビリ体操・嚙下体操
6月	お茶会・運動会・室内ゲーム・誕生会・体重測定・リハビリ体操・嚙下体操
7月	流しそうめん・室内ゲーム・誕生会・体重測定・リハビリ体操・嚙下体操
8月	納涼祭・室内ゲーム・誕生会・体重測定・リハビリ体操・嚙下体操
9月	敬老会・室内ゲーム・誕生会・体重測定・リハビリ体操・嚙下体操
10月	おやつ作り・室内ゲーム・誕生会・体重測定・リハビリ体操・嚙下体操
11月	書道・室内ゲーム・誕生会・体重測定・リハビリ体操・嚙下体操
12月	忘年会・室内ゲーム・誕生会・体重測定・リハビリ体操・嚙下体操
1月	新年会・おやつ作り・室内ゲーム・誕生会・体重測定・リハビリ体操・嚙下体操
2月	節分・おやつ作り・誕生会・体重測定・リハビリ体操・嚙下体操
3月	おやつ作り・室内ゲーム・誕生会・体重測定・リハビリ体操・嚙下体操

### (6) 井田居宅介護支援センター

平成12年4月のスタート以来、在宅サービスを中心にサービス利用が急速に拡大するなど、介護保険制度は、老後の安心を支える仕組みとして定着しています。

介護保険の居宅介護支援業務は、ご本人、ご家族が住み慣れた地域・ご自宅で自立した生活ができるよう、必要なお手伝いをさせて頂く事を主業務として行っております。

井田居宅介護支援センターではご利用者・ご家族様に介護サービスを安心して利用してもらえようご要望を伺いながら対応させていただきました。

平成26年3月より主任介護支援専門員を含む三名体制となり、7月に特定居宅（質の向上のための話し合いを定期的に行うこと、体制の確立、職員の計画的な研修、24時間連絡体制の確保など）の取得に向けて、ご利用者へのサービスの質を向上をしております。

(文責 井田居宅介護支援センター 佐藤 幸二)

平成25年4月～平成26年3月 井田居宅介護支援センター介護計画作成・給付管理実績数						
介護度別給付管理者数						(単位:人)
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	23	8	12	4	6	53
5月	11	5	9	4	7	36
6月	10	3	4	4	5	26
7月	12	4	6	4	5	31
8月	11	6	5	4	5	31
9月	10	3	5	3	4	25
10月	12	2	5	3	4	26
11月	11	2	4	5	5	27
12月	12	2	4	4	4	26
1月	12	7	3	3	3	28
2月	12	6	3	4	3	28
3月	35	22	16	9	4	86
合計	171	70	76	51	55	423

地域別給付(要介護)管理者数								
川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	市内合計	
		194	227	2			423	
横浜市	その他県内		東京都	その他	市外合計			
				0	0			
年齢構成別給付管理者数								(単位:人)
	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳～	合計
4月	0	1	5	10	13	13	11	53
5月	0	1	4	5	9	8	9	36
6月	0	0	3	4	8	5	6	26
7月	0	0	3	4	9	8	7	31
8月	0	0	3	4	9	8	7	31
9月	0	1	4	3	6	5	6	25
10月	0	1	4	5	6	5	5	26
11月	0	0	4	4	7	6	6	27
12月	0	0	4	4	7	6	5	26
1月	0	0	4	4	8	6	6	28
2月	0	0	3	6	7	6	6	28
3月	1	1	5	15	30	16	18	86
合計	1	5	46	68	119	92	92	423

### (7) いだ地域包括支援センター

地域包括支援センターは、高齢者の身近な相談窓口として川崎市から委託を受けた公的な相談機関です。設置されてから8年が過ぎました。

高齢者が住みなれた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続できることを目指し、その実現のために、できる限り要介護状態にならないように「介護予防サービス」を適切に実施するとともに、要介護状態になっても高齢者のニーズや状態の変化に応じて必要なサービスが切れ目なく提供される、「包括的かつ継続的なサービス体制」の確立を目指してきました。

地域の方との顔の見える関係づくりを意識して井田病院内で引き続き出張相談や各サロンへの参加、ひとり暮らし暮らしの会食等へ積極的に参加してきました。

そして、地域包括支援センターの存在を地域のたくさんの方に知っていただくことを目的に、広報誌『いだなか便り』を作成し地域の方に配布しております。

また、認知症になっても『安心して暮らせる街』を目指して、地域の方、高齢者、子供たち等たくさんの方に認知症を知っていただくための活動にも力を入れてきました。

・ 地域からの実態把握

相談者	相談件数	相談者	相談件数
本人から	920	保健福祉センターから	59
本人の家族、親族から	622	民生委員、町会、自治会から	39
介護支援専門員から	194	他地域包括支援	11
サービス事業者から	121		
医療機関から	81		

・ 介護予防サービス・支援計画の作成数

要介護高齢者に対して、自立して生活や要介護状態がさらに悪化することが無いように対象者の実態把握を行い必要に応じて適切な介護予防サービス、支援計画の作成を行いました。

〈2013年度介護予防サービス作成数〉

対象者状況	件数	支援計画作成件数	
介護予防サービス、支援計画	3,156 件	直営 880 件	委 2,276 件

〈定期的に行っている活動〉

1. よりあい処美知〈毎月〉
2. 井田憩いの家で行っているひとり暮らしの会食会の方を対象に希望者のみ  
血圧測定、健康相談。〈2ヶ月に1回〉
3. 下小田中北島公園体操  
公園体操に参加。情報提供。〈4月～12月の隔月に1回〉
4. 『いだなか便り』発行 年3回 活動紹介・情報提供等
5. 歌声喫茶〈2ヶ月に1回〉
6. 健康麻雀朱雀〈2ヶ月に1回〉

〈個別活動〉

- 井田病院の窓口で出張介護相談。〈適宜〉
- 井田病院のイベント看護の日に参加。 (5月)  
ポスターを作成し地域包括支援センターの周知。
- 介護予防教室 シルバーハウジング対象 (7月)  
防災マップ配布・介護予防体操
- かわさき在宅ケア症例検討会参加 (8月)

○介護予防教室	オアシス井田対象 防災マップ配布・介護予防体操	(8月・1月)
○介護者教室	生き生きライフセミナー	(10月・11月)
○第2共和会健康講和参加	音楽療法	(1月)
○大戸第一・住吉地区の民協定例会へ参加		(5月・3月)
○オアシス井田運営推進会議参加		(5月・9月)
○グループホーム愛の家運営推進会議参加		(6月・8月・10月・12月)
○井田共友会防災訓練参加		(6月)
○九都市県防災訓練参加		(8月)
○下小田中6丁目防災訓練参加		(9月)
○井田病院防災訓練参加		(11月)
○川崎看護学校実習生受け入れ		(5月・7月・9月)
○特別養護老人ホームせせらぎ運営推進会議参加		(5月・9月・11月)
○グループホーム中原推進会議参加		(6月・9月・12月・3月)
○中原区地域福祉計画説明会参加		(3月)

<u>区内全体の活動</u>	・なかはら福祉まつりに参加。	(9月)
	・地域ケア全体会研修会。	(1月)
	・成年後見人制度事例検討会	(9月)
	・虐待事例検討会	(1月)
	・パンジー体操普及活動。	(月1回)
	・虐待学習会	(6月)
	・中原区地域包括支援センター運営協議会参加	(5月・12月)
	・認知症サポーター養成講座	(6月・8月・10月・1月)
	・なかはら情報発信スポット	3月
	・中原区包括的継続的ケアマネジメント部会・中原区介護支援専門連絡会合同研修会	
	配食サービス試食会	10月

<u>定期的な会議参加</u>	・中原区地域包括支援センター会議	月1回
	・川崎市地域包括支援センター連絡会議	月1回
	・専門職部会	
	① 包括的継続的ケアマネジメント部会	年8回
	② 権利擁護部会	年6回
	③ 介護予防部会	年6回
	・地域ケア運営会議	月1回
	・いだ地域包括ケア会議	年3回
	・中原区地域福祉推進検討会議	年5回



<2013 年度> 実績管理表

番号	介護目標	重点施策（活動計画）
1-1	<p>川崎市地域包括支援センター運営事業実施要綱に基づき、質の高いサービスが提供できるようにします。</p>	<p>【専門知識向上のため各種研修会への参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川崎市地域包括支援センター連絡会 10回</li> <li>・その他</li> </ul> <p>①介護支援専門員専門研修課程Ⅱ・更新研修（11/15・11/19・12/3・12/17）</p> <p>②第40回国際福祉機器展（9/20）</p> <p>③地域包括ケア推進指導者養成研修（7/23・7/30・2/18）</p> <p>④ファシリテーション入門研修（9/26）</p> <p>⑤利用者の自立に向けた目標指向型支援に向けて（11/27）</p> <p>⑥成年後見制度基礎研修～関係機関向け～（11/12）</p> <p>⑦第1回川崎市在宅療養推進協議会・地域リーダー研修（2/9）</p> <p>⑧行列のできる講座の極意（2/20）</p> <p>⑨「自然な死」を支える（3/5）</p>
2	<p>高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続することができるよう以下の業務を円滑に遂行し、ご利用者、ご家族等、及び関係機関との信頼関係を築きます。</p> <p>1)介護予防事業に関するケアマネジメント業務</p> <p>2)介護保険外のサービスを含む、高齢者や家族に対する総合相談支援業務</p> <p>3)権利擁護業務</p> <p>4)包括的・継続的ケアマネジメント業務</p>	<p>【ご利用者に対し適切な支援プランを作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防サービス、支援計画表作成 338件</li> <li>・サービス担当者会議の開催 104件</li> <li>・サービス担当者会議への参加 95件</li> </ul> <p>【総合相談支援業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数 1.838件 訪問件数 1.305件</li> </ul> <p>3【権利擁護相談数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成年後見 28件</li> </ul> <p>4【包括的・継続的ケアマネジメント業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護支援専門員への支援・研修会を開催</li> </ul>

3	定期的にモニタリング及び評価を行います。	【問題解決への支援】 ・介護予防支援、サービス評価表作成
4	地域に根ざした支援活動を行います。	【各機関との連携】 ・地域ケア連絡会に参加。 ・ボランティア団体等地域のインフォーマル団体への支援。 ・井田病院相談窓口 ・ひとり暮らし会食会参加。 ・よりあい処美知 ・歌声喫茶 ・健康麻雀朱雀
5	川崎市の委託費と予防給付の収益を川崎市地域包括支援センター運営事業実施要綱に基づき、有効活用します。	【2013年度介護給付費】 介護予防プラン件数      3,156件 介護給付費                      5,273,514円

文責  いだ地域包括支援センター  センター長  横山  正太

記入日：2014年4月1日

#### (8) 社団法人川崎市看護協会立訪問看護ステーション井田

訪問看護ステーション井田は、かわさき総合ケアセンター内に開設し 15 年が経過しました。

今年度も川崎市立井田病院をはじめ、地域の医療機関や居宅介護支援事業所から 100 件近い相談があり、訪問看護サービスを実施しました。

2013 年度は常勤看護師が産前・産後・育児休暇取得のため欠員となり、同法人から一名の異動と非常勤職員一名を採用し職員の補充を行い、3 月末の職員は、常勤看護師 3 名、非常勤看護師 6 名と非常勤の事務職員 1 名です。

職員一人ひとりが研修計画をたて、川崎市看護協会立事業所研修をはじめ日本訪問看護財団・神奈川県看護協会・川崎市看護協会等の外部研修に参加するとともに、事業所内では毎月医療安全会議や事例検討会、研修報告会や外部講師を招いての勉強会を開催し、質の高いサービスが提供できるよう努めております。

また今年で 3 年目になる川崎市立井田病院在宅医療部との週一回のカンファレンスにも参加させていただき、情報交換を行うことでより密な連携が図れていると感じております。

新規利用の依頼数は 82 名で前年度と比較して 9%の増加でしたが、年々短期間で終了するケースも多く、一年間の終了者数は 85 名（昨年比 29%増加）でした。

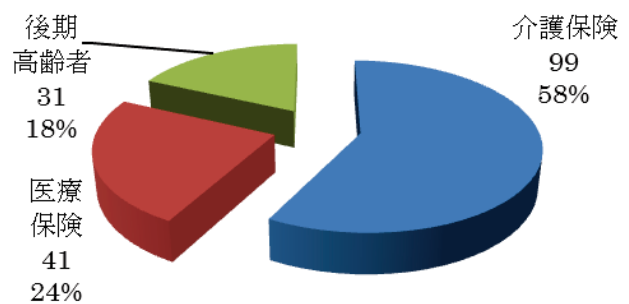
疾患別では例年のとおり悪性新生物が最も多く、ターミナルケアも増加し、24名の在宅看取りを行いました。

今年度は3年目の関東労災病院看護師の一日訪問看護見学研修は好評で、20名の看護師が実習し、最近では在宅への移行がスムーズに行えるようになってきていると実感しております。

(文責 所長 福原 加代子)

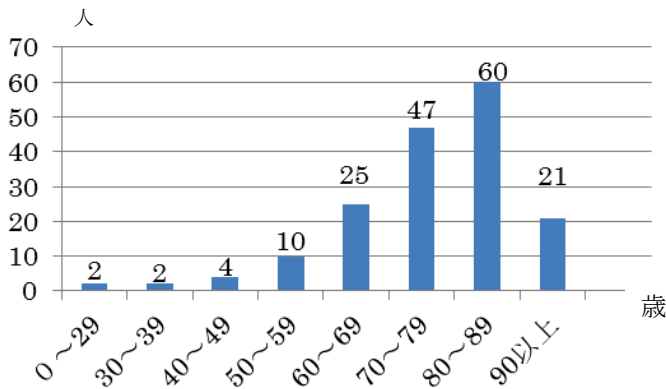
### 1 訪問看護サービス利用者数及び保険別状況 (2013年4月～26年3月)

		実数	延件数
利用者		171	5,443
保 険 別	介護保険	99	3,398
	医療保険	41	1,365
	後期高齢者	31	680

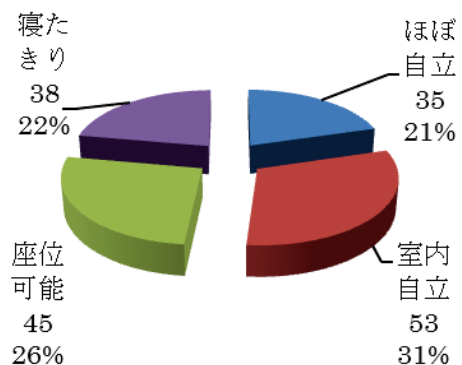


利用者実数は昨年度と比較して10%増加しているものの、利用開始しても1か月以内に訪問終了となるケースが多く、訪問件数はわずか1%の増加でした。利用者実数の58%、延件数の約62%が介護保険の利用者で、癌末期で医療保険を利用する方が増えています。

### 2 利用者の年齢階級別状況

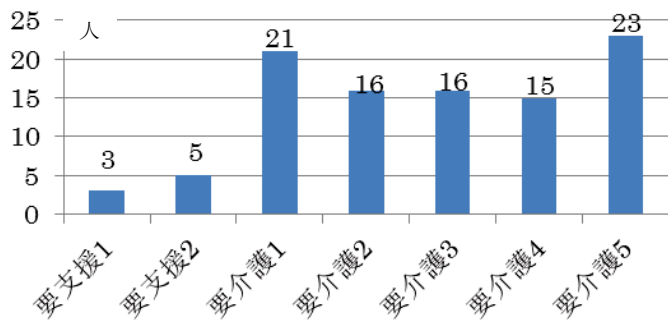


### 3 生活自立



利用者は80歳代が最も多く、70歳以上の利用者が75%を占めています。生活自立度は、ほぼ自立と室内自立が52%、寝たきりは22%でした。

#### 4 利用者の状況(実数 99 名)

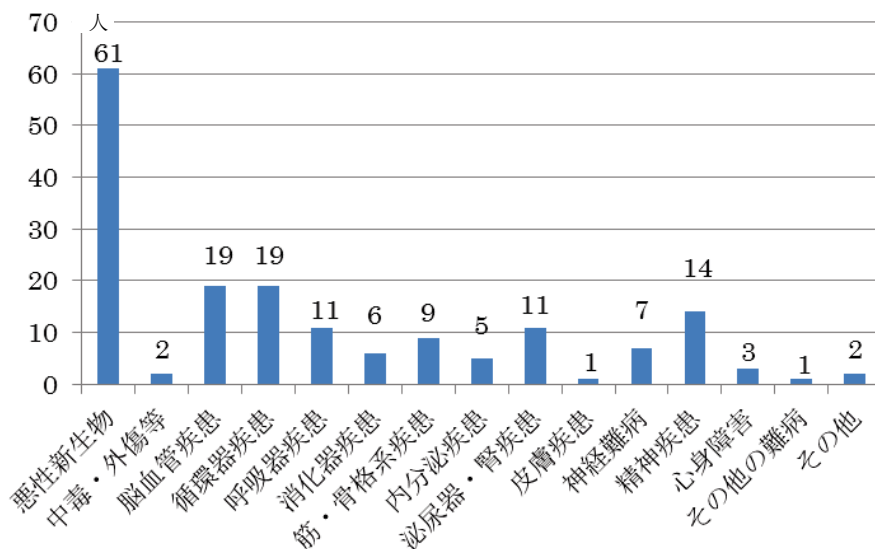


#### 5 依頼経路(171名)

ケアマネジャー	90
医療機関看護師	42
包括支援センター	1
行政機関	4
家族・本人	2
MSW	23
医師	3
介護施設等	6

介護保険利用者の介護区分は、要介護5が最も多く、要介護3～5の利用者が55%を占めています。把握経路はケアマネジャーからの依頼が53%を占めておりますが、癌末期のケースは退院調整に関わる看護師からの依頼が多く、医療機関の医師・MSWからの相談も合わせると40%を占めておりました。

#### 6 利用者の主な疾病(実数 171名)



主な疾病分類の内訳は、多い順に悪性新生物、脳血管疾患、循環器疾患となっており、最も多い悪性新生物は37%で、前年度の32%から更に増加しております。

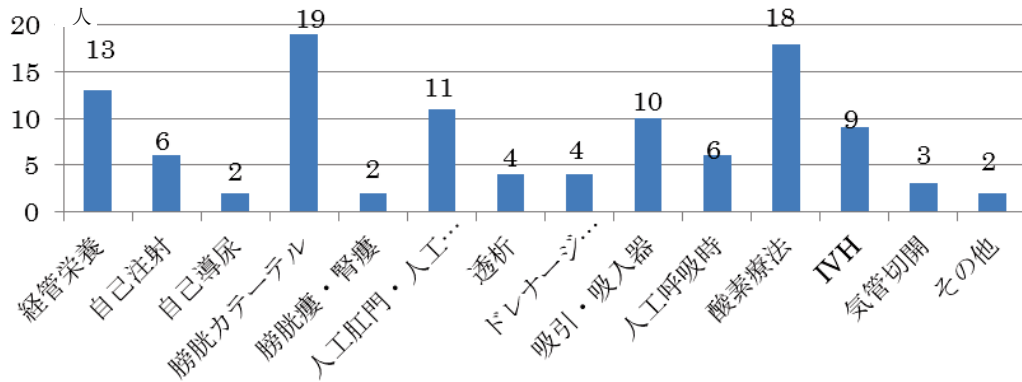
#### 7 医療処置状況

##### (1) 医療機器等使用の有無

利用者実数	あり	なし
171	84	87

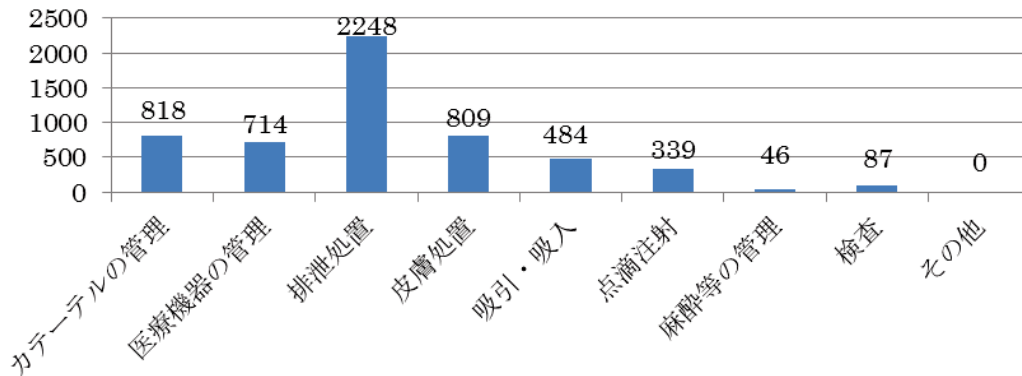
医療機器を使用している利用者数は約49%とわずかではありますが、前年度の51%より減少しておりました。

(2) 医療機器等の種類 (84人中、延べ109件の内訳)



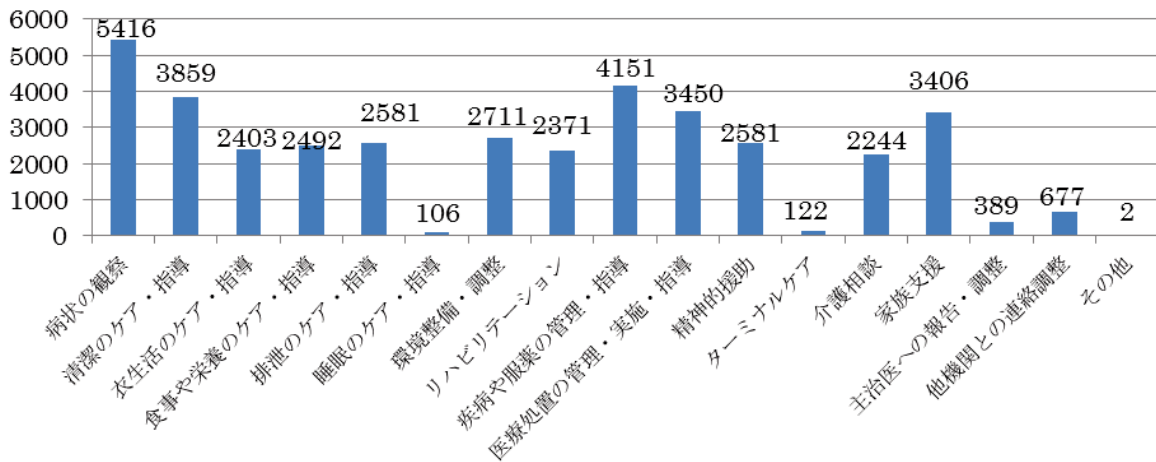
医療機器の種類は、膀胱カテーテル、酸素療法、経管栄養の順に多くなっておりませんが、前年度と比較しますと、経管栄養や膀胱留置カテーテルはわずかに減少し、在宅酸素やIVHが増加傾向にあります。

(3) 医療処置の管理・実施・指導の内訳 (複数)



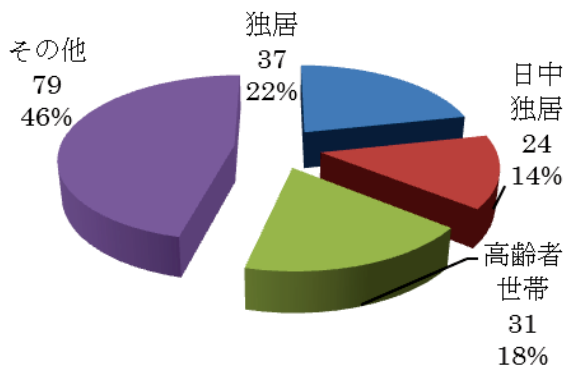
医療処置の管理・実施・指導の内訳で多いのは、前年度と変わらず排泄処置、カテーテル管理、皮膚処置でしたが、排泄処置・カテーテル管理はわずかに減少しており、代わりに点滴注射が増加傾向にあります。

## 8 訪問看護内容(複数)



訪問看護内容は、疾病や服薬の管理・指導が76%、清潔ケア71%、医療処置の管理・実施・指導63%、家族支援63%、環境整備・調整50%です。

## 9 家族構成



## 10 認知症の有無と程度

認知症	なし	56
	あり	115
程度	軽度Ⅰ・Ⅱ	76
	重度Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ	39

なんらかの認知症状ありの方が67%で、そのうち重度の方は34%でした。

## 11 利用終了理由

終了者数	入院	死亡	施設入所	軽快・不変	その他
85	15	53	8	1	8

死亡終了者53名(前年度より6名増加)のうち、自宅で亡くなられた方は24名、病院は29名でした。

## 12 休日・年末年始等の訪問 128件

## 13 実習受け入れ状況

	実習人数	延べ日数
川崎市立看護短期大学	4名	20日 (5日×4人)
川崎看護専門学校	8名	32日 (4日×8人)
川崎市看護協会 訪問看護師養成講習会受講生	6名	6日 (1日×6人)
関東労災病院在宅実習	20名	20日 (1日×20人)